

# 授業科目 公衆衛生看護活動演習Ⅰ

|  |  |   |  |           |                               |
|--|--|---|--|-----------|-------------------------------|
| 【担当教員名】  |  | 対象学年  | 2  | 対象学科      | 看護                            |
| 宇田 優子、小山 歌子、杉本 洋、<br>稲垣 千文、小林 房代、和田 直子   |  | 開講時期  | 前期                                       | 必修選択      | 選択                            |
|  |  | 単位数   | 1  | 時間数       | 30                            |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】   |  |   |  |           |                               |
| 知識・理解  | 思考・判断                                    | 関心・意欲   | 態度                                       | 技能・表現     |                               |
| ◎  | ◎  | ○   | ○  | ◎         |                               |
| 【概要・一般目標：GI0】<br>公衆衛生看護を展開する上で必要な技術である、地域看護診断技術を習得する。  |  |   |  |           |                               |
| 【学習目標・行動目標：SBO】  |  |   |  |           |                               |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域特性を把握し、健康課題を抽出することの意義を説明できる</li> <li>2. 地域の健康課題を把握し活動計画を立案するための理論モデルを説明できる</li> <li>3. 地域特性や健康課題を把握するためのデータを入手できる</li> <li>4. 既存資料から得られた健康に関する情報を分析しアセスメントできる</li> <li>5. 公衆衛生看護活動計画を立案できる</li> <li>6. 公衆衛生看護活動計画立案・実施、評価の一連の過程を討議し、自己の考えを述べることができる</li> <li>7. 新潟市北区南浜地域・島見町の歴史的背景を述べるができる</li> </ol> |  |   |  |           |                               |
| 回数   | 授業計画・学習の主題                               | SBO<br>番号   | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員                     |           |                               |
| 1、2  | 公衆衛生看護活動における地域診断の意義、地域の健康課題を把握するための情報（1） | 1、2   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 3、4  | 地域の健康課題を把握するための指標、北区南浜地域・島見町の歴史          | 1～3、7   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 5、6  | 地域の健康課題を把握・分析する（1） 母子保健                  | 1～4   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 7、8  | 地域の健康課題を把握・分析する（2） 高齢者保健                 | 1～4   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 9、10   | 高齢者の健康課題の把握・分析に必要な健康情報                   | 1～4   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 11、12  | 健康課題と地区活動計画の立案、評価（1）                     | 5   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 13   | 健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（2）                   | 5   | 講義・演習、担当：宇田 優子 他                         |           |                               |
| 14、15  | 健康課題と地域保健活動計画の立案、評価（3）                   | 1～7   | 発表・全体討議、担当：宇田 優子 他<br>* 内容や進め方は変更する場合がある |           |                               |
| 【使用図書】   |  | <書名>  | <著者名>                                    | <発行所>     | <発行年・価格 他>                    |
| 教科書<br>(必ず購入する書籍)  |  | 公衆衛生看護学   | 津村智恵子、上野昌江                               | 中央法規      | 2012・3,600円＋税・1年次に購入したものを使用する |
|  |  | 公衆衛生看護学 jp  | 荒賀直子、後閑容子                                | インターメディカル | 2012・4,400円＋税・1年次に購入したものを使用する |
| 参考書  |  |   |  |           |                               |
| その他の資料   |  |   |  |           |                               |
| 【評価方法】<br>学習態度（提出物含む）50%程度<br>テスト 50%程度  |  | 【履修上の留意点】<br>パソコンを使用して、情報収集と表作成を行うので、パソコン・LAN ケーブルを持参すること |  |           |                               |